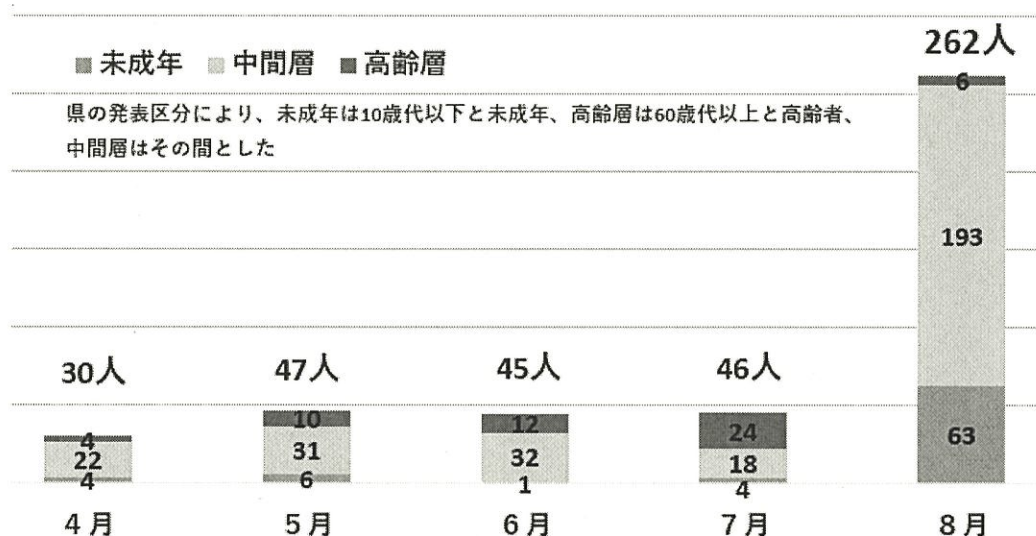


新型コロナウイルス対策
ワクチン接種の取組状況
抗原検査キット1万個追加の予算案を提出

1 掛川市の新型コロナウイルス新規感染者数

- ・掛川市内の感染者は8月に入り急増し、9月に入っても感染者が相次いでいる。
- ・年代別の感染状況では、8月に入り、ワクチン接種が進んでいる高齢層の感染は少なく、全国的な傾向と同じく未成年者の感染が拡大。



○掛川市の若年層への対応

- ・幼稚園・認定こども園等について、8月30日(月)から9月11日(土)までの間、家庭での保育が可能な家庭においては、家庭保育を依頼。
 - ・その場合、保育料は、日割り計算して減額。
 - ・小・中学校では、感染拡大防止と学習機会の確保の両立を図るため、文部科学省が定める衛生管理マニュアルに応じた対応を徹底。
- 子どもたちの学びを止めないため、2学期から、本格的な授業のオンライン配信を開始。

【裏面に続く】

2 ワクチン接種の状況（9月5日現在）

50,000 人を超える市民が1回目の接種を終え、50 歳以上の市民の方の1回目の接種率が約8割、2回目についても約7割の方が接種終了。

区分	1回目接種者数	2回目接種者数
65歳以上の方	30,748人(94.73%)	30,329人(93.44%)
60歳～64歳の方	6,183人(82.94%)	5,523人(74.08%)
50歳～59歳の方	7,644人(53.09%)	2,781人(19.32%)
40歳～49歳の方	2,800人(16.93%)	2,044人(12.36%)
30歳～39歳の方	1,696人(12.08%)	1,479人(10.54%)
20歳～29歳の方	1,322人(12.44%)	1,064人(10.01%)
12歳～19歳の方	122人(1.38%)	68人(0.77%)
全年代	50,515人(48.42%)	43,288人(41.49%)

※ワクチン接種記録システム（VRS）より

4月1日の住民基本台帳人口（104,332人）に基づき算出
年齢は今年度末時点の年齢で算定

3 ワクチン接種 現在の取組状況

①徳育保健センターの予約枠を増枠します

働き盛り世代への新型コロナワクチン接種を推進するため、小笠医師会の皆様などの更なる協力により下記日程を追加、時間当たり100人の接種を開始。

- ・9月27日(月)から11月5日(金)の間の平日夜間（午後7時から午後9時）
- ・9月29日(水)から11月4日(木)の間の水曜日と木曜日の午後（午後1時30分から午後4時30分）

②9月11日(土)に12歳以上39歳以下の方の接種券を発送します

これにより現時点での接種対象市民全員への接種券発送完了。

③母子手帳を交付している妊婦の方の優先接種をしています

個別接種は市内23の医療機関により、集団接種はエコパアリーナ会場において実施中。

④妊婦の御家族及び中高校生などの受験生を対象に発送しました

早期に接種を希望される方の接種券申請受付を9月3日に締め切り、妊婦の同居家族165件、受験生703件を発送。

4 抗原検査キット（1万個）を追加配備

- ・掛川市では、昨年度、県内で初めて約1万2千個の抗原検査キットを配備。
これまで、感染者が出た施設等において迅速な検査を行い、クラスターの発生を防ぐなど、感染拡大の防止に努めてきている。

○ これまでに約3,000個使用

- ・夏以降、感染力の強いデルタ株等の変異ウイルスにより、若年層への感染が拡大。
- ・抗原検査キット1万個（追加）の購入費用を、昨日、9月補正予算案として追加提出。
- ・幼児教育・保育施設、小・中学校等で発熱等の症状がある場合などに抗原検査を行い、早期発見とクラスターの発生防止に努める。

○ 予算額 9,350千円

○ 内 容 抗原検査キット（10,000個）購入費追加

○ 小学校・中学校、幼児教育・保育施設などに約10,000個配備

■本件に関する担当者

健康医療課 新型コロナワクチン接種対策係 道田・鈴木（電話 0537-64-5671）
健康企画係 望月（電話 0537-64-5671）
こども希望課 荒木（電話 0537-21-1205）
学校教育課 増田（電話 0537-21-1156）